

北九州市立枝光台中学校父母教師会

〒805-0002 北九州市八幡東区枝光五丁目8-1
TEL 093-671-1552

1 会員数及び会費（平成22年度）

区分	P会員	T会員	その他の会員	計
会員数	243人	20人	0人	263人
一人あたりの会費(年額)	4,800円	4,800円	0円	

2 収支決算（平成21年度）

収入の部	前年度繰越金 年間費	420,759円 1,248,800円	雑収入 210円	計 1,669,769円
支出の部	費目	支出額	摘要	
	会議費・需用費	19,884円	会議費、事務用品代等	
	負担費	106,965円	市中P連、安全互助会等	
	涉外費・交通費	143,079円	地域行事、研究交通費等	
	生徒奨励費	133,225円	学校行事支援費、卒業記念品等	
	雜費	145,327円	慶弔費等	
	各委員会活動費	278,146円	委員会活動費等	
	記念事業費	200,000円	周年事業積立金等	
	その他	643,143円	予備費等	
	計	1,669,769円		

3 設けられている会則・運営細則・会計規則等

会則等の名称	制定年月日	要旨
北九州市立枝光台中学校父母教師会規約	平成13年4月1日	施行
	平成18年5月24日	一部改正
	平成22年4月18日	一部改正

4 発足から今日までの歩み

年月日	PTAの沿革
平成13年 4月 1日	北九州市立枝光台中学校開校
平成15年 4月 1日	新校舎落成
平成17年～平成21年	福岡県PTA新聞コンクール入賞
平成18年～平成19年	全国PTA広報紙コンクール優秀賞受賞
平成22年10月23日	創立10周年記念式典
平成22年11月11日	日本PTA全国協議会文部科学大臣表彰受賞

5 地域の概要

平成13年4月1日、枝光中学校と枝光北中学校の統合により新設された10年目の学校である。平成15年に旧枝光北中学校に新校舎が竣工され移転した。

本校の校区は、八幡東区の北東部に位置し、新日鐵八幡とともに発展してきた地域である。しかし、少子化と新日鐵八幡の経営縮小の影響を受け、生徒数は年々減少している。周囲には、「いのちのたび博物館」「市立美術館」「環境ミュージアム」等の施設があり、教育環境に恵まれた地域である。また、開かれた学校づくりの視点に立って、地域行事にも学校・PTAともに積極的に参加するなど地域と一体となった教育活動を行っている。

6 組織運営の状況

本PTAは、役員会、各種委員会から構成されており、全ての会員はいずれかの委員会に所属するようになっている。委員会は、総務、学年、広報、成人教育、体育、育成で構成される。また、理事会は、役員および各委員会の正・副委員長、校長、教頭、教務、生徒指導主事、学年主任、委員会担当職員で月1回開催されている。その他にも本校のOBを中心に構成されている『おやじの会』がある。

平成18年度より委員の負担軽減や保護者の学校への参加をねらって、会員全てが委員会に所属するようになった。そのため年間一人1回の協力が原則となっている。

7 広報活動の状況

理事会の後、『理事会だより』を発行し、その審議内容や報告事項、また研修会、行事予定等の連絡や活動内容の周知徹底、協力依頼に努めている。

広報委員会では、広報紙『枝光台』を年2回発行するとともに、ミニ新聞を年間数回発行している。平成17年から21年の5年間は県PTA新聞コンクールで各種の賞を受賞するなど広報紙のレベルは高く、広報紙としての役割を十二分に担っている。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

特に取り組みはしていないが、PTA行事と授業参観を組み合わせて参加率を上げるなどの努力はしている。今年度は10周年記念として生徒用テント3張を寄贈した。

9 成人教育に関する諸活動の状況

核家族化の進展や地域の人間関係の希薄化等で、子育てやしつけ、基本的生活習慣の確立が低下している中、本来の教育活動の場である家庭での教育力を充実させるために市民センターのサポートのもと家庭教育学級を年間5回実施している。

その学習内容は、①子どもの心理的・身体的なこと ②基本的生活習慣に関わること ③家族の人間関係に関わること ④親の役割 ⑤非行問題 ⑥子どもの性 ⑦勉強と友人関係 ⑧将来の進路 ⑨学校や地域との連携と交流 ⑩国際化と家庭教育 ⑪情報化と家庭教育 ⑫環境問題 ⑬人権問題 と幅広く多くの分野から選択できるようにしている。今年は「明日に向かって笑顔でGO！ 心にビタミンとりますか」をテーマに

5回の家庭教育学級を開き、参加した保護者の方にたくさんのビタミンを吸収してもらった。このビタミンを子どもや家族に注ぎ、さらに元気な家庭をつくってもらいたいと願っている。

10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

本校校区には、「枝光地区連絡協議会」という組織がある。本会は、枝光地区の児童生徒の健全な育成を図ることを目的とし、枝光地区の各学校及び地域ならびに関係機関との連携を深め、地域における教育環境の改善・充実に努めることを目的にしている。

構成組織

【学校関係】	【保護者】	【自治区会】
・保育所、保育園、幼稚園	・小・中学校のPTA	・青少年育成部
・小学校、中学校、高校	【関係機関】	・まちづくり協議会
	・警察（生活安全課、派出所）	・市民センター
	・主任児童員	

活動内容として、パトロールに加え、情報を共有することで地域としての視野に立った理解を深め、地域、学校、保護者、関係機関が一体となった取り組みを推進している。特に、本市の「子どもを育てる10か条」の実戦に向けての取り組みを行っている。また、活動報告を地域や保護者に行い地区全体の健全育成に向けた取り組みを行っている。

11 地域の教育環境の整備に関する活動

「おやじの会」という組織があり、卒業したOBを中心に組織されており、花植えなど学校の環境整備に一役買ってくれている。その他にも、各種行事にはPTAの補助や学校の援助に力を貸してくれている。卒業後も地域の者として学校を応援する組織として定着している。

12 今後の課題

本校のPTAは、本来の委員会活動等の他に、市民センターやまちづくり協議会等が主催する地域行事を推進する役割も担っている。

本校は、歴史ある2つの中学校が統合し誕生した開校10年目の学校であり、各地域の人々はいわゆる「おらが学校」の意識が大変強い。このような状況の中、学校教育の発展と生徒の成長を支えてくださった歴代の会長をはじめとした役員・理事、各委員のご尽力に改めて敬意を表したいと思う。

しかしながら、昨今の少子化に伴い、本校区においても年々子どもの数が減少し、PTA活動に積極的に参加いただく方も少なくなっている。また、社会の構造的な変化に伴い、平日は働いている方も多く、日常の多忙感からか、休日や夜間に行われる委員会活動や地域行事等への参加率も減少傾向にある。

どの学校も抱えている課題だと思うが、誰もが楽しく、また積極的に参加できるPTA活動をどのように構築するか、今後の知恵の出しどころである。